

ワーク用エピソード

直樹さんと裕子さん夫妻が一人息子のケンタくんに習い事をさせるかどうかで話し合っています。

裕子：ケンタに何か習い事をさせたいんだけど、どう思う？

直樹：習い事って結構お金もかかるんだよね。それに、ケンタはまだ4歳だから、少し早すぎるんじゃないのかい。

裕子：でも、習い事って、早ければ早いほうがいいと聞くわ。

直樹：じゃあ、何を習わせるつもりだい？

裕子：そうね。小学校に行っても勉強に困らないように、今のうちから読み書きや計算を習わせるのはどうかしら。

直樹：英会話もあるし、水泳やピアノに通っているお友だちもいるよね。だけど、まずはケンタのだらしないところをしっかりとさせた方がいいんじゃないかな。

裕子：○○○。



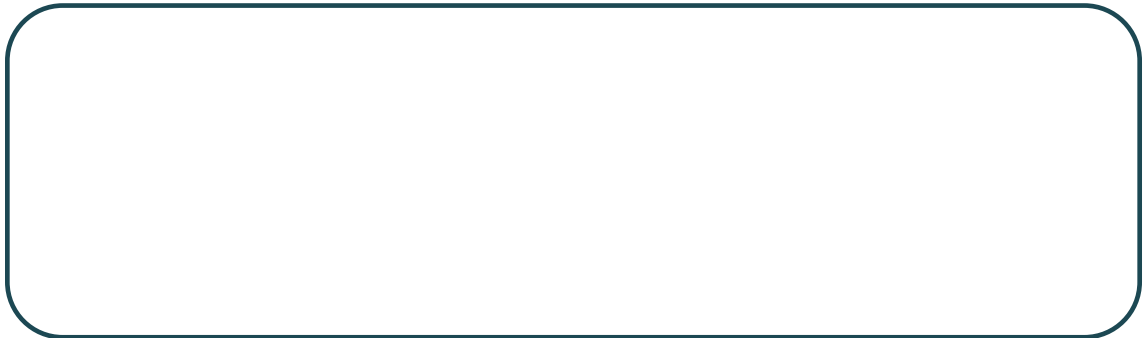
ワーク1 エピソードを読んで、あなたがもし裕子さんだったとしたら、この後どのように会話を続けますか。想像して書いてみましょう。

A large, empty rounded rectangular box with a dark blue border, intended for the participant to write their response to the scenario.

ワーク2 小学校に入るまでに子どもに身につけさせたいと思うのは、
どんなことですか。(知識や特技だけでなく、忍耐力や協調
性、意欲等の幅広い力や姿勢、生活習慣等も含めます。)



ワーク3 子どもを習い事に通わせるときに、あなたが心がけたいと思
ったことを考えてみましょう。



MEMO

